

キャラクター名

プレイヤー名

シンドローム	ソラリス		ワークス	UGN支部長B	カヴァー	薬剤師
	ソラリス			年齢	たぶん20代	性別
オプション	覚醒	感染	衝動	妄想	初期侵食率	28 %
出自	天涯孤独	経験	記憶喪失	邂逅	忘却	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	24
肉体	0	0	1			1	行動値	4
感覚	0	1	0			1	(非装備時)	4
精神	2	0	0			2	戦闘移動	9
社会	6	0	0			6	全力移動	18

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	1		RC			交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達	5	
運転:	1		芸術:			知識:			情報: UGN	4	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				最低値17 (リミットブレイク)+(ポイズンフォグ)+(狂戦士)+(アウトブレイク) シーン選択範囲: ダイス+8 C-1
80以上		0				最低値13 (ポイズンフォグ)+(狂戦士)+(アウトブレイク) シーン選択範囲: ダイス+8 C-1
100以上		0				最低値13 (ポイズンフォグ)+(狂戦士)+(アウトブレイク) シーン選択範囲: ダイス+10 C-1

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
Dロイス: 申し子P		N		
賢崎蓮矢	P 執着	N 偏愛		
母	P 憧憬	N 偏愛		
スクラッチ	P 憧憬	N 偏愛		
昼木くん	P 友情	N 偏愛		
エリィ	P 慈愛	N 偏愛		
	P	N		

最大財産P: 22 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
申し子:リミットブレイク	1	4	メジャ		自身	自動		
効果: エフェクトの浸食値制限をLv回無視できる								
帰還の声	1	6	オート		自身	自動	ピュア	
効果: 使用制限のあるエフェクトを一回使用可能にする。シナリオ中一回								
ポイズンフォッグ	5	2	メジャ					
効果: 射程を射程視界、至近に変える								
狂戦士	4	5	メジャ			自動	80	
効果: Lv*2のダイス、C-1。対象の次のメジャーエフェクトに付与								
アクセル	4	1	セット		単体	自動		
効果: Lv*2+行動値								
アウトブレイク	1	6	メジャ					
効果: リミット:ポイズンフォグをシーン選択にする								
戦乙女の導き	2							
効果: ★								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

自分の詳しいことは何も知らない覚えてない
 何処かに居て、何かをされていたようなしていたような覚えがある
 多分自分はきっと被検体。でも覚えてない
 でも覚えている。おぼろげに覚えている《母》の存在
 暖かい手が、体温が、鼓動の音を覚えている。優しく抱きしめられながら———その熱が次第に無くなっていったのを覚えている
 その前後を覚えてない。きっと私の大事な人だったのだと思う

そのまま気がついたらUGNに居て、生きて暮らすために仕事を覚えて
 誰かを守るという大義に魅せられて、自分がそう有りたいと願って気がついたらこうなっていた
 与えることになんの疑問もない。自分は誰かにめくもりを与えるもの、自分は誰かの為になるもの
 それが、最古の記憶の中にある自分が最も憧れた姿だから
 だから皆愛してる。自分の身を削いででも守りたい、助けたい、生かしたい、導きたい
 だからどうか、私の手を離れないでほしい

【消えたアルバムのページ】
 本当はオーヴァードに目覚めた時、親から「化け物」と蔑まれ虐待された末にFHに売り飛ばされた過去を持つ
 その後はFHの過酷な実験過程で、更に純度の高いシンドロームの力に目覚め
 FHはオーヴァードを人為的に増やす実験のために「墮ちる絶望」の力を徹底的に研究を始めた
 その力は強大で、ジャーム化するリスクのあるそれを比較的安定して扱える彼女という個体はとても理想的なマウスだった
 度重なる実験、目の前で化け物になっていく存在、さらに加速する人ならざる者たちの誕生を見続けて
 あまりの過酷な現実に頭髪から色が抜け落ちくすんだ灰色となる。元の髪の色は既に忘れ、何度も行われた実験で瞳の虹彩が異質な物となっていた